

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773700469		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとび庵摂津・千里丘		
所在地	大阪府摂津市千里丘東1-13-7		
自己評価作成日	令和3年12月10日	評価結果市町村受理日	令和4年3月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/28/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224		
訪問調査日	令和3年12月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆうとび庵摂津・千里丘では地域との関わりを大切にしており自治会に加入しております。自治会でいわれる夏祭りや運動会などのイベントに積極的に参加し、また地域の防災訓練などへも参加して地域の一員としての活動を行っております。他にもご近所の皆様と花火大会を開催し地域交流を図ったり、ボランティアが運営する認知症カフェにも協力し一緒に開催するなど活発な活動を行っております。施設内でも様々なレクリエーションを展開して主に季節を感じていただける行事を企画運営させていただいております。今後も地域に開かれたアットホームなグループホームを目指して取り組んでいきたいと思っております。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

駅に近く、散歩・買い物・通院など生活に便利な住宅地にあり、自治会や地域住民の協力が得られる環境である。通常は、地域交流・地域貢献に積極的に取り組み、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう取り組んでいる。コロナ禍のため交流や外出を休止しているが、作品レクリエーション、食事・おやつレクリエーション、毎月の行事等を通して、利用者が日常生活の中に季節感や楽しみが感じられるよう努めている。毎月、会議・委員会・研修を計画的に行い、職員の資質向上とサービス運営に反映している。職員が参画して毎月モニタリングを行い、利用者の現状に即した個別支援につなげている。建物1階のクリニックによる往診・訪問看護・24時間連絡体制があり、希望があれば看取り介護にも対応している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着の意義を踏まえた事業理念を各フロア毎に掲示しその理念の共有、実践に繋がっています。	法人理念「より良い介護」「感動ある介護」をもとに、事業所の基本方針を策定している。基本方針は8項目の具体的な内容となっており、地域密着型サービスの意義を明示している。理念・基本方針を玄関と各フロアに掲示し、新人研修と年度初めの施設内研修で学ぶ機会を設け、共有と理解を図っている。毎年、理念・基本方針をもとに事業所の年間目標を策定している。各フロアの年間目標も策定し、フロア会議で定期的実践状況を確認し、理念・基本方針の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所として地域とのつながりを大切にし日常的な交流に繋がっています。	自治会に加入し、自治会長の協力を得ている。通常は、地域の行事や防災訓練への参加、事業所のイベントでの交流、ボランティアの来訪等、地域交流を行っている。また、地域ボランティアの育成、認知症カフェの開催、実習生の受け入れ等、地域貢献にも努めている。コロナ禍のため外出や交流を休止しているが、買い物や訪問理美容等で地域資源を活用したり、市役所での作品展に利用者の作品を出展する等、可能な方法で地域とのつながりが継続できるよう取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ボランティアの育成に協力し貢献しています。		

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見を踏まえてサービスの向上に活かしています。	利用者・家族代表・地域代表(自治会長)・市役所職員を構成委員とし、2ヶ月に1回開催している。令和2年3月から会議の開催が困難なため、報告書を郵送して、利用者状況・行事・コロナ対策等について報告している。「ご意見・感想」用紙を同封し、返信してもらっている。議事録ファイルを玄関に設置して公開している。	「ご意見・感想」の返信内容を次の報告書で共有し、書面でも意見・情報交換できるよう工夫してはどうか。会議再開後は、引き続き、知見者参加に向けた取り組みを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村とは直接及び事業所連絡会などを通じて連携を図り協力関係を作っています。	運営推進会議を通して、市役所に利用者の状況や事業所の取り組みを伝え連携を図っている。市の事業者連絡会の開催は休止しているが、就職フェアと介護の日イベントは開催され参加している。介護の日の作品展には事業所からも出展している。福祉的支援が必要な利用者には、市の支援課と協働して支援に取り組んでいる。通常は、市の介護相談員の受け入れを行っているが、コロナ禍のため休止している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修を定期的に行い施設全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	「身体拘束適正化のための指針」を整備し、「身体拘束適正化委員会」をマネージャー会議で3ヶ月に1回を開催している。委員会では、拘束を行わないリスク対応について検討している。議事録を各フロアで回覧し、職員の周知を図っている。年間研修計画に沿って、「身体拘束廃止・虐待防止」を年に2回実施している。全員が参加できるように研修会を複数回実施し、受講者はレポートを提出している。フロアの入り口は施錠しているが、外出の希望があれば玄関前のスペースで気分転換を図る等、閉塞感を感じないように配慮している。	委員会の内容の職員周知を明確にする工夫が望まれます。

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の為研修を行い事業所内で虐待が発生しないよう防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について研修の機会を持ち必要に応じて活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約等の際は十分な説明を行い且つ質問などお答えしご理解をいただけるよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を常設したり面会時に直接お尋ねするなど確認しています。	家族の来訪時・面会時・電話連絡時に、利用者の近況を報告し、家族の意見・要望の把握に努めている。毎月、写真を掲載した「ゆうとぴ庵通信」で事業所の行事を、「近況報告」で個別の生活の様子を伝え、家族から意見・要望が出やすいように取り組んでいる。「意見箱」も設置している。また、通常は、利用者・家族が運営推進会議に出席し、外部者に意見を表す機会も設けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議などを通じて職員の意見や提案をヒヤリングし反映に努めています。	毎月、マネージャー会議・フロア会議・委員会（生活・食事・コンプライアンス）を開催し、職員が意見・提案を出し合って話し合っている。フロア会議ではレクリエーション・感染症対策・利用者のケア・業務等について話し合い、生活委員会では行事や職員の接遇について、食事委員会では食事・おやつレクリエーション、食事の委託業者への意見について、コンプライアンス委員会では事故ヒヤリハット事例について話し合い、職員の意見をサービスや運営に反映している。管理者・フロア長が、適宜個人面談を行い、職員の意見を個別に聴く機会も設けている。	

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得のバックアップや有給の取得など職場環境の向上に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各個人のスキルや経験に合った内部研修や外部研修の機会を設け環境整備に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所連絡会の交流イベントなど積極的に参加しネットワーク作り行なっています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の困りごとや要望などに耳を傾け安心いただけるよう関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望など事前に確認しサービスの提供を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今すぐ必要となるサービスを確認し提供に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支えあう関係であることを自覚し共に生活をする者として関係構築を心がけています。		

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご家族と本人様の関係にも配慮しながら共 に支えあう関係作りを心がけています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様がこれまで築いてきた馴染みの関 係を大切にしながらその交流を引き続き継 続できるよう支援に努めています。	入居時に把握した馴染みの人や場所につい ての情報があれば、フェイスシートやアセスメ ントシートに記録し、3ヶ月毎に更新している。 通常は家族や友人の来訪があり、また、散 歩・買い物・地域行事への参加・自宅への外 出等、馴染みの人や場所との関係継続を支 援している。コロナ禍のため、交流や外出を 休止しているが、ガラス越しの面会や電話等 を活用し、馴染みの関係が継続できるよう取 り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう な支援に努めている	1人1人が孤立することなく関わり合い、支 えあえる関係ができるよう支援に努めてい ます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もこれまでの関係を大切にしま ながら必要に応じて相談や支援に努めていま す。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	1人1人の思いを大切に本人の立場に立っ て検討しています。	生活歴・生活習慣・趣味・嗜好等、利用者の 思いや暮らし方の希望について、入居時に把 握した情報は、フェイスシートやアセスメン トシートに記録し、3ヶ月毎に更新している。把 握が困難な利用者については、行動や表情 から汲み取ったり、家族の意見を参考にして 把握に努めている。把握した情報は、フロア 会議や連絡ノートで共有し、支援や介護計画 に反映できるよう取り組んでいる。	

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族様から生活歴についてヒヤリングを行い経緯からの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方について日々確認し状態の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	よりよく暮らすための課題など関係者と話し合いそれぞれの意見の反映に努めています。	フェイスシート・アセスメントシートをもとに初回の介護計画を作成し、その後は、定期的には3カ月毎に計画の見直しを行っている。サービスの実施状況は、「介護記録」に記録している。「介護記録」は各種サービスの実施状況・利用者の様子・介護計画の短期目標番号を記録する書式になっている。毎月のフロア会議で、利用者の状況の共有とモニタリングを行っている。会議前に全職員がモニタリングシートに意見を書き込むことにより、計画内容の理解を図り、意見が集約できる仕組みがある。計画の見直し時には、フェイスシート・アセスメントシートを更新し、再アセスメントを行っている。また、見直しのための会議はフロア会議の中で位置づけ、主治医等関係者の意見があれば、モニタリングシートやフロア会議録に記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの実践の結果など記録し職員間で情報を共有し次のケアへの見直しに活かしています。		

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のケアの実践の結果など記録し職員間で情報を共有し次のケアへの見直しに活かしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用し豊かな生活が実現できるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様、ご家族様の希望など伺いかかりつけ医と連携し適切な医療の提供を支援しています。	入居時に利用者・家族の意向を確認し、希望に沿った受診支援を行っている。現在は、全利用者が建物1階のクリニックから内科の往診と訪問看護の訪問を受け、24時間連絡可能な体制を整備している。必要時に、歯科・精神科の往診を受けられる体制もある。他科の通院での受診には概ね職員が同行し、医師に情報提供し、受診結果を把握している。往診・通院・訪問看護について、「介護記録」の医療欄に記録し、連絡ノートにも記録して職員に周知を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師とも連携し適切な看護が受けられるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院側とも入院時など情報交換を行い円滑にできるよう関係作り行なっています。		

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時にも重度化、終末期についての説明を行いその後も状態に合わせて説明を重ねて支援に取り組んでいます。	契約時に「重度化した場合の対応に関する指針」と「看取りに関する指針」に沿って事業所の方針を説明し、同意を得ている。重度化を迎えた段階で、主治医から状態を説明し、事業所からも再度説明し、家族の意向を確認している。看取り介護の希望があれば、看取りの介護計画を作成し、職員・主治医・看護師等が連携を密にとり、家族の意向に沿った支援に取り組んでいる。経過については、フェイスシートの「発症経過」欄に記録している。年間研修計画に入れ、「看取り介護」研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習など学んだり緊急時の研修など備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害について研修や地域との協力体制も築いています。	年間計画に沿って、毎年2回、昼間・夜間想定で、利用者も一部参加し総合訓練を実施している。令和3年1月は夜間想定、7月は地域住民も参加して昼間想定で実施している。訓練後は、写真による実施記録を作成し、各フロアで回覧している。年間研修計画に入れ、「非常災害対策」研修を実施している。通常は、地域の防災訓練にも参加し、地域との連携に努めている。備蓄は、法人内で共同備蓄しているが、事業所内でもフロア毎の備蓄と非常持ち出し袋を整備している。	実施記録に、訓練内容や訓練実施後の振り返り等も記載し、また、回覧印などで周知を確認してはどうか。

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮し言葉がけに注意しています。	年間研修計画に沿って「個人情報・プライバシー保護」「接遇」「認知症ケア」研修を実施し、また、「認知症ケア」については毎月資料研修も実施し、プライバシーや誇りを損ねない言葉かけや対応について学ぶ機会を設けている。生活委員会でも振り返る機会を設け、各フロアに発信して意識づけを行っている。個人記録類は事務所の鍵のかかる書庫に保管し、写真の使用は「ゆうとぴ庵通信」への掲載・館内掲示に限定し、契約時に口頭で同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の意思決定への働きかけ行い支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしが実現できるよう支援行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様の意向も聞きながら季節に合った服装やおしゃれを支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人1人ができることや能力を生かしながら楽しみが広がるよう支援しています。	委託業者から献立と食材が届けられ、各フロアで手作り調理した食事を提供し、利用者個々に応じた食事形態にも対応している。利用者のADLや意向に応じて、食事準備に参加できるよう支援している。毎月食事委員会を開催し、利用者の摂食状況や献立等についての意見を共有している。また、委員会では、季節感や利用者の希望を採り入れた毎月の食事レクリエーション・おやつレクリエーション・誕生会を企画し、行事の際は行事食を提供し、食事が楽しめるよう取り組んでいる。	

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養状態に注意しながら一人一人の習慣に応じた支援をおこなっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の力に応じて口腔ケアを毎日行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のタイミングや習慣など理解できるだけトイレでの排泄ができるよう支援しています。	「介護記録」の排泄欄に記録して利用者個々の排泄状況や排泄パターンを把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。状況に応じて2人介助でも対応している。夜間は安眠にも配慮し、利用者個々に応じた支援を行っている。日々の申し送りや毎月のフロア会議で検討し、現状に即した介助方法や排泄用品の使用につなげている。同性介助を基本とし、居室やトイレのドアの開閉に留意する等、プライバシーに配慮した支援について周知を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量をはじめ食事、お薬、運動など取り入れながら便秘の予防に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人様の希望も聞きながら入浴支援行っています。	一般浴槽の個浴で、週に2回以上の入浴を基本としている。利用者の体調や希望等に応じて柔軟に対応し、入浴状況は「介護記録」の入浴欄で把握している。状況に応じて2人介助やシャワー浴で対応し、同性介助の希望には同性で対応し、入浴を嫌がる利用者には声かけやタイミングを工夫する等、個別の配慮を行っている。ゆず湯等で季節感を楽しめるよう工夫している。	

ゆうとぴ庵摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人によって休息が取れるようその時々状況に合わせて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかつけ薬局にも教えてもらいながら薬の知識、理解を深め支援に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人1人の趣味、嗜好など考慮しながら力を活かせるレクリエーションなど支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出ができるようご家族様や地域の支援を受け支援しています。	通常は、散歩・買い物等への日常的な外出、地域行事への参加、季節ごとの外出行事等、外出支援に取り組んでいる。事業所で研修を受講したボランティアの協力を得て、外出機会が増やせるようにも工夫してる。コロナ禍のため外出は休止しているが、玄関前のスペースで外気浴する等、気分転換が行えるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お買い物の際には本人様にお金を使えるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話やお手紙などできるよう支援しています。		

ゆうとぴ庵 摂津・千里丘

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地の良い共用スペース作りを工夫しています。	各フロアの入り口から共用スペースまで長い廊下があり、その両壁面に、1年間の行事の写真や利用者と一緒に制作した季節感のある作品が飾られている。共用スペースにテーブル席とソファ、廊下にもソファを配置し、思い思いの場所でくつろいで過ごせるよう配慮している。キッチンから手作りの調理の音や匂いを感じられ、利用者も食事の準備に参加したり、洗濯物を干したり、たたんだり、職員と一緒に掃除する等、生活感が感じられるように支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中で思い思いに過ごせるよう工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまで使い慣れた物を利用いただきながら居心地の良い居室の配置を支援しています。	各居室に、ベッド・クローゼット・机・椅子等が設置されている。こたつ・筆筒・テレビ等の使い慣れた家具や道具、人形・ぬいぐるみ・家族の写真等の馴染みのある大切なものが持ち込まれ、居心地よく過ごせる環境づくりが行われている。湿度管理や危険防止の家具の配置にも配慮している。居室担当の職員を設け、家族と連絡しながら、衣替えや環境整備を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1人1人の能力を活かし安全かつできるだけ自立した生活がおくれるよう支援しています。		